

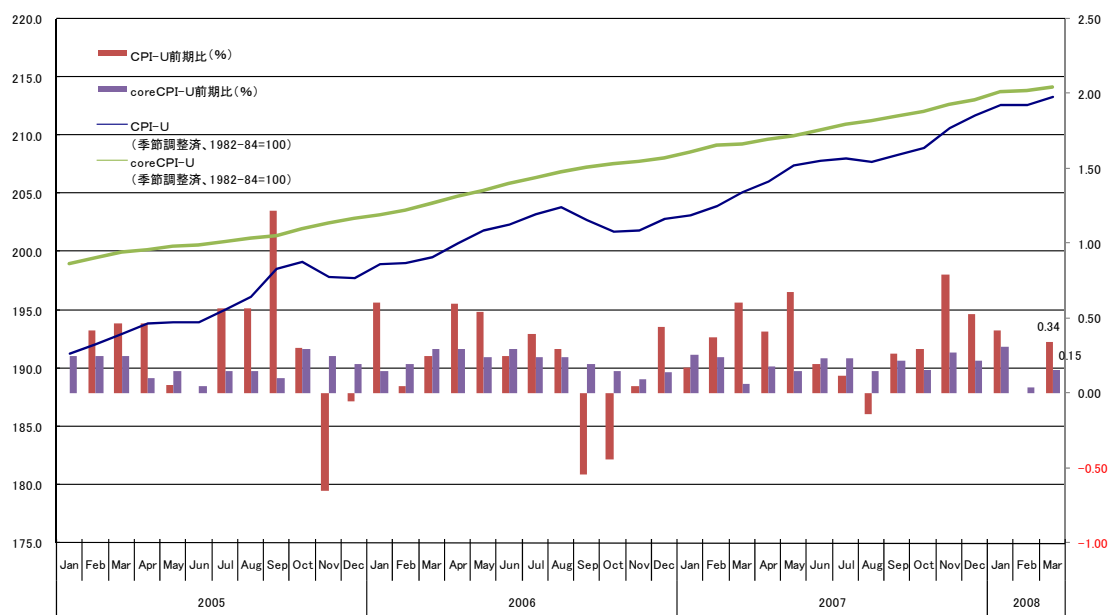
米国経済点描（2008. 5. 9）

～物価指数～

米国労働省労働統計局（BLS）が4月15日に公表した2008年3月の消費者物価指数によると、3月の全都市消費者の消費者物価（季節調整済）は、2月から0.3%上昇した。前年同月比では4.0%の上昇率となった。また、食料及びエネルギーを除くコアインフレ率は0.2%上昇した。これは年率に直すと1.8%の上昇に相当し、FRBが許容の上限とする2%の範囲内に収まっている。ただし、原油高騰の影響を受けたエネルギー関連については、1.9%上昇（前月は0.5%低下）している。

一方、卸売物価指数では、最終財と中間財でそれぞれ前月から1.1%、2.3%と、2007年12月以来の大きな上昇となった。また、石油製品についてみると、2月の3.7%上昇に引き続いて8.0%も高騰し、今後の物価全般への波及が懸念される。

消費者物価指数(都市部消費者)



出所: 労働統計局資料をもとにアクシスリサーチ研究所作成

○お問合わせ先○

株式会社アクシスリサーチ研究所 〒107-0052 東京都港区赤坂渡辺ビル4 F
TEL 03-5572-7770 FAX 03-5572-7771 E-mail contact@axis-research.co.jp